

2014年度 文学部・人間科学部

授業評価に関するアンケート調査報告書

2015年3月

文学部・人間科学部FD委員会

目次

1. 調査実施の概要	1
2. 本報告書の構成	2
3. 2014年度授業評価アンケート回答者数 学科別・学年別（延べ人数）	3
4. 質問項目別平均得点、質問項目間相関係数の算出	4
5. 項目別アンケート集計結果	5
【設問 3】 授業にはほとんど出席し、積極的に参加した。	5
【設問 4】 この授業科目のために自主的に学習した。	6
【設問 5】 この授業はわかりやすかった。	7
【設問 6】 授業内容は体系的であり、よくまとまっていた。	8
【設問 7】 この授業は知的魅力（面白さ）のあるものであった。	9
【設問 8】 この授業は自分の学習にとって有益だった。	10
【設問 9】 学生の理解度や反応に配慮した授業の進め方がなされていた。	11
【設問 10】 自発的に学習・探求するための指針や助言をこの授業で得ることができた。	13
【設問 11】 授業に対する教員の熱意を感じた。	14
【設問 12】 授業教室の視聴覚設備は十分であった。	15
【設問 13】 シラバスを読んでこの授業を履修した。	16
【設問 14】 授業をより良くするために工夫できることがあれば書いてください。	17
6. 集計結果全体のまとめ	19

1. 調査実施の概要

1999年秋に発足した文学部 FD 委員会は、2000年度から毎年、授業に関するアンケート調査を実施し、報告書を取りまとめている。

2010 年度に新たに人間科学部が創設されるとともに、文学部の改組が行なわれたが、今年度はその完成年度になる。しかし、文学部と人間科学部の FD 委員会では今年度も昨年度同様に人間科学部と文学部が合同でアンケート調査の実施および集計を行うこととした。

文学部と人間科学部では、一昨年までは、各教員の自発性を尊重しつつ紙媒体によるアンケートを実施してきた。しかし、昨年度より専修大学の情報科学センターのポータルサイトのアンケート機能を利用することで、アンケートを実施することになった。さらに、基本的に全教員に最低限 1 科目はアンケート調査を実施してもらっている。

今年度の第 2 回 FD 委員会（4 月 22 日）では、人文・ジャーナリズム学科では専門講義科目の多くが前期に開講されていることを考慮して、後期に加えて前期にも授業評価アンケートを実施することになった。

今年度の前期は 5 月 27 日（火）～6 月 10 日（火）、後期は、10 月 7 日（火）～10 月 30 日（木）に、文学部と人間科学部の各学科のアンケート実施科目の選定を行った。

ポータルサイトを利用したアンケート実施に当たっては、文学部と人間科学部の各学科の FD 委員がアンケート実施科目それぞれの全受講生をポータルに登録する必要があるため、前期は、7 月 11 日（金）までに、後期は、FD 委員が 12 月 12 日（金）までに、ポータルへの登録を行った。

前期は、7 月 15 日（火）～7 月 28 日（月）、後期は、12 月 15 日（月）～2015 年 1 月 20 日（火）までアンケート調査を実施した結果、延べ 3,270 人の協力を得ることができた。この数は、一昨年度の回答者数の 4,886 名よりも下回ってはいるものの、昨年度の後期の回答者数の 2,477 人よりはかなり上回っている。

授業評価アンケートの CSV ファイルのダウンロード、各質問項目に関する度数分布の作成、および授業ごとの集計結果の作成については、文学部・人間科学部教務課の協力のもと、FD 委員会各委員が分担して行い、アンケートの個別集計結果は、年度内の 3 月 20 日（金）の教授会で実施教員に返却し、次年度の授業改善の資料として活用していただくことになった。

来年度の FD 委員会への申し送り事項としては以下の 3 点があげられる。

- ①授業評価アンケート実施方法の検討（アンケート項目・実施期間・具体的な実施方法など）。
- ②授業評価アンケート実施率向上のための方策の検討。
- ③文学部と人間科学部による合同調査の検討。

なお、文学部と人間科学部 FD 委員会によるポータルサイトを利用した授業アンケート実施の取り組みについては、全学的にも注目されており、文学部 FD 委員会委員長の末廣幹が、専修大学教育開発支援委員会の広報誌である『教育開発支援 Newsletter』No.29 に「ポータル・サイトを利用した授業評価アンケートの実施について」という小文を寄せて、報告を行った。教育開発支援委員会では、この取り組みが評価されているが、アンケートの集計ととりまとめの段階で、文学部と人間科学部の各 FD 委員が、受講生が授業に寄せた否定的な意見も把握できてしまうことが問題であるという指摘もあり、全教員にアンケートを義務化することで作業を外部委託する方法が望ましいのではないかという意見も寄せられている。

最後に、本報告書作成にあたり、調査にご協力いただいた文学部・人間科学部教員および文学部・人間科学部教務課各位にお礼を申し上げます。

2. 本報告書の構成

まず、学科別・学年別のアンケート回答者数を集計した。次に、アンケート項目ごとに回答分布を数値と円グラフで示し、集計結果を記した。また、当該項目にあてはまる自由記述回答（個人的なものではなく全体に関するもののみ）を抜粋して掲載した。最後に集計結果全体の傾向についてまとめた。

3. 2014年度前期・後期授業評価アンケート回答者数 学科別・学年別（延べ人数）

学科	学年	1年次 (14年度)	2年次 (13年度)	3年次 (12年度)	4年次 (11年度)	5年次以上	その他	合計
【1-1】日本語学科		35	54	44	7	2	0	142
【1-2】日本文学文化学科		91	66	43	11	5	0	216
【1-3】英語英米文学科		133	256	125	42	6	0	562
【1-4】哲学科		36	29	31	3	2	0	101
【1-5】歴史学科		177	247	157	25	3	0	609
【1-6】環境地理学科		95	133	51	8	4	0	291
【1-7】人文・ジャーナリズム学科		272	112	40	18	1	0	443
【1-8】心理学科		54	41	13	4	0	0	112
【1-9】社会学科		151	191	69	13	1	0	425
【1-10】経済学部		84	12	13	9	0	0	118
【1-11】法学部		2	0	0	1	0	0	3
【1-12】経営学部		1	9	4	0	0	0	14
【1-13】商学部		118	12	7	11	0	1	149
【1-14】ネットワーク情報学部		75	0	5	2	2	0	84
【1-15】大学院		1	0	0	0	0	0	1
【1-16】その他		0	0	0	0	0	0	0
合計		1325	1162	602	154	26	1	3270

4. 質問項目別平均得点、質問項目間相関係数の算出

<平均、標準偏差(SD)>

No.	項目	平均	SD
Q3	授業にはほとんど出席し、積極的に参加した。	4.58	.75
Q4	この授業科目のために自主的に学習した。	3.38	1.22
Q5	この授業はわかりやすかった。	4.04	1.03
Q6	授業内容は体系的であり、よくまとまっていた。	4.11	.98
Q7	この授業は知的魅力(面白さ)のあるものであった。	4.13	1.02
Q8	この授業は自分の学習にとって有益だった。	4.15	.98
Q9	学生の理解度や反応に配慮した授業の進め方がなされていた。	3.84	1.07
Q10	自発的に学習・探求するための指針や助言をこの授業で得ることができた。	3.73	1.05
Q11	授業に対する教員の熱意を感じた。	4.36	.87
Q12	授業教室の視聴覚設備は十分であった。	4.24	.98
Q13	シラバスを読んでこの授業を履修した。	4.25	1.21

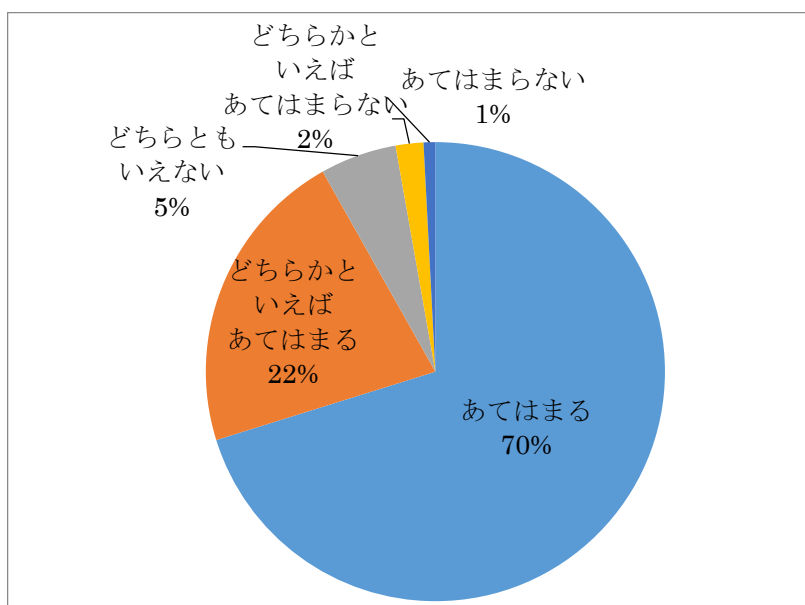
<相関>

	設問 3	設問 4	設問 5	設問 6	設問 7	設問 8	設問 9	設問 10	設問 11	設問 12	設問 13
設問 3	1.000										
設問 4	.259	1.000									
設問 5	.183	.371	1.000								
設問 6	.178	.318	.703	1.000							
設問 7	.177	.343	.656	.568	1.000						
設問 8	.241	.391	.631	.564	.705	1.000					
設問 9	.144	.339	.635	.560	.550	.511	1.000				
設問 10	.163	.427	.537	.482	.580	.568	.588	1.000			
設問 11	.180	.231	.482	.462	.518	.440	.490	.472	1.000		
設問 12	.103	.122	.304	.324	.293	.282	.289	.270	.329	1.000	
設問 13	.050	.166	.168	.160	.189	.183	.193	.189	.183	.149	1.000

4. 項目別アンケート集計結果

【設問3】授業にはほとんど出席し、積極的に参加した。〈出席状況〉

	あてはまる	どちらかといえ あてはまる	どちらとも いえない	どちらかといえ あてはまらない	あてはまらない	無回答・ 無効	合計
人数(人)	2295	708	176	64	27	0	3270
割合(%)	70	22	5	2	1	0	100



【集計結果】

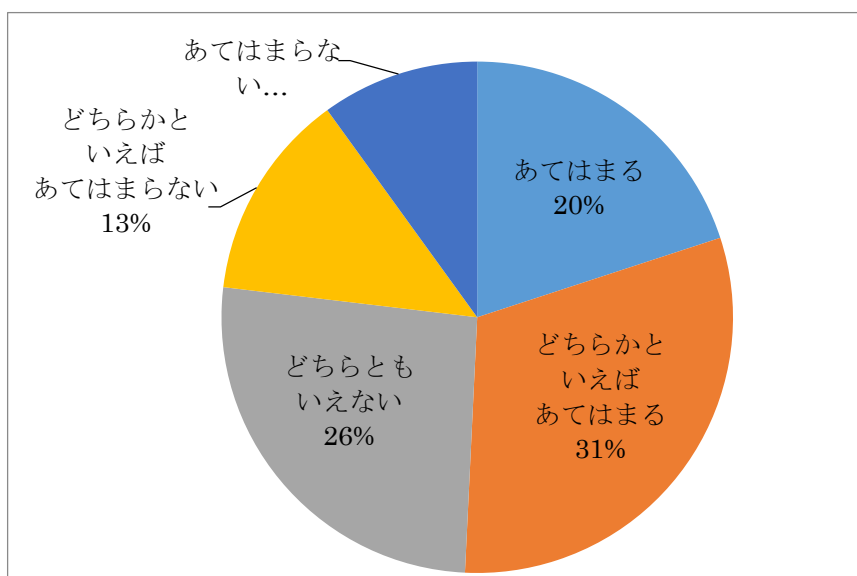
今年度は「あてはまる」と「どちらかといえあてはまる」の合計は 92%であり、昨年度の「あてはまる」(58%)と「どちらかといえあてはまる」(29%)の合計 87%よりわずかに上昇した。

【自由記述欄より】

- ・とても授業が面白くて体調悪い日以外は全て出席しました！楽しく学べてテストも出来たのでとても正解だと思いました。
- ・他学科の学生ですが、先生の授業は個性的で面白くとてもためになるので毎週楽しみに授業を受けています。

【設問 4】 この授業科目のために自主的に学習した。〈自主的学習〉

	あてはまる	どちらかといえ あてはまる	どちらとも いえない	どちらかといえ あてはまらない	あてはまらない	無回答・ 無効	合計
人数(人)	653	1007	854	430	326	0	3270
割合(%)	20	31	26	13	10	0	100



[集計結果]

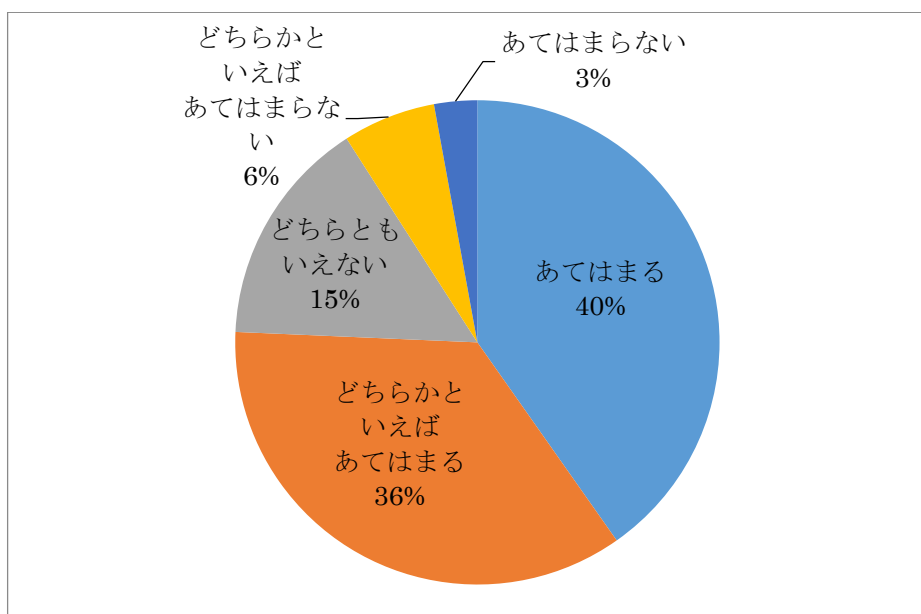
「あてはまる」と「どちらかといえあてはまる」の合計は 51%である。昨年度の「あてはまる」(17%)と「どちらかといえあてはまる」(28%)の合計 45%よりもわずかに上昇した。そして、「どちらかといえあてはまらない」と「あてはまらない」の合計が 23%、つまり自主的な学習に取り組んでいない学生が回答者の四分の一程度いる点は憂慮すべきであろう。

[自由記述回答より]

- ・載っている資料が魅力的でもっと見たいと思った。

【設問 5】 この授業はわかりやすかった。〈明解さ〉

	あてはまる	どちらかといえ ばあてはまる	どちらとも いえない	どちらかといえ ばあてはまらない	あてはま らない	無回答・ 無効	合計
人数(人)	1316	1159	498	203	94	0	3270
割合(%)	40	35	15	6	3	0	100



【集計結果】

今年度の「あてはまる」と「どちらかといえ
ばあてはまる」の合計は 76%であり、昨年度の「あ
てはまる」(32%)と「どちらかといえ
ばあてはまる」(37%)の合計 69%よりわずかに上昇した。

【自由記述回答より】

・プリントをたくさん配布していただけるので教材が多く、試験の前に見直しをしやすいよかった。

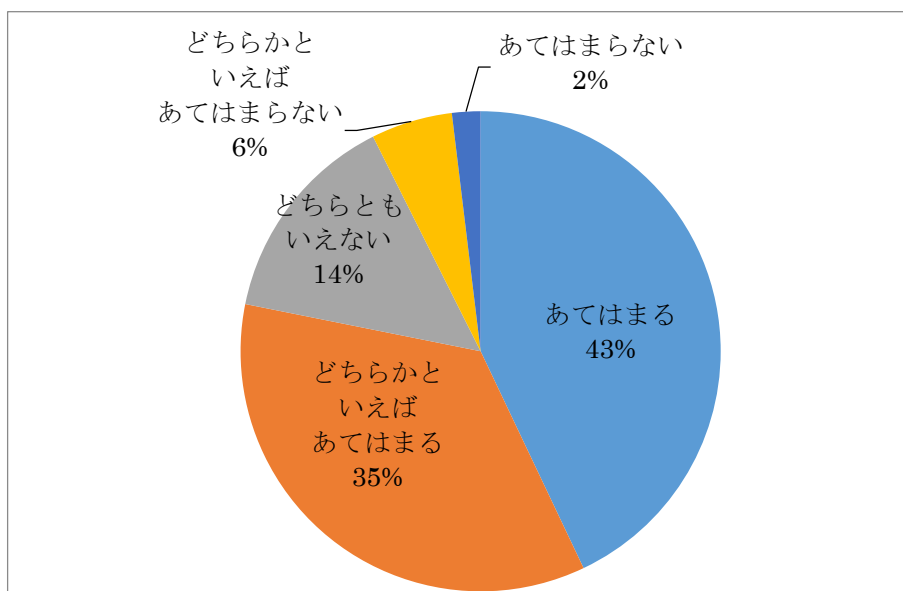
・分かりやすく、また近隣のことを題材にして講義が進められていたため、親近感をもって臨むことができた。

・板書の文字が小さすぎ。最前列ですら板書が見えない時があったので、字を丁寧に大きく書いてほしい。

・先生の話す声が小さく、よく聞こえません。

【設問 6】 授業内容は体系的であり、よくまとまっていた。〈体系性〉

	あてはまる	どちらかといえ ばあてはまる	どちらとも いえない	どちらかといえ ばあてはまらない	あてはま らない	無回答・ 無効	合計
人数(人)	1395	1157	475	180	63	0	3270
割合(%)	43	35	15	6	2	0	100



【集計結果】

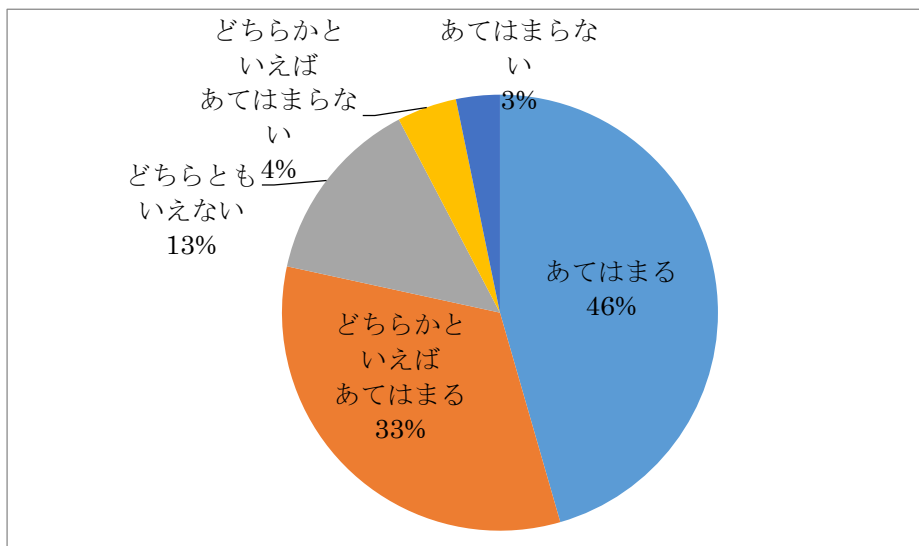
「あてはまる」と「どちらかといえあてはまる」の合計は 78%であり、昨年度の「あてはまる」(37%)と「どちらかといえあてはまる」(36%)の合計 73%とほとんど変わっていないが、満足できる結果と言えよう。

【自由記述回答より】

- ・板書が要点をまとめてあり、試験のときに自分のノートを見直して理解しやすかった。
- ・黒板に書く時、メモを書くような字で読みづらく、プリントのどこに書いておけば良いかも分かりづらかった。書くなら体系的に書いて欲しいです。

【設問 7】 この授業は知的魅力（面白さ）のあるものであった。〈知的魅力〉

	あてはまる	どちらかといえ あてはまる	どちらとも いえない	どちらかといえ あてはまらない	あてはま らない	無回答・ 無効	合計
人数(人)	1489	1075	455	145	106	0	3270
割合(%)	46	33	14	4	3	0	100



【集計結果】

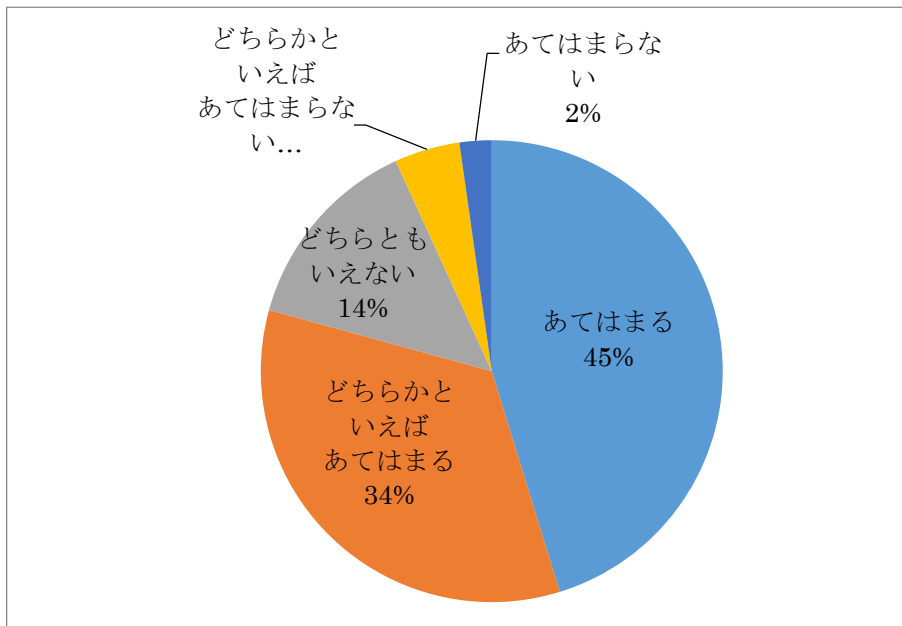
「あてはまる」と「どちらかといえあてはまる」の合計は 79%であり、昨年度の「あてはまる」(40%)と「どちらかといえあてはまる」(36%)の合計 76%とほぼ変わらない結果と言えよう。

【自由記述回答より】

- ・体育会の自分には難しい内容でしたが楽しい講義でした
- ・この授業で考古学の基礎を学び、考古学といってもその範囲は全世界・太古から現代まで続き、文系というより自然科学的で数学の知識も時に用いることに驚きました。しかし、新しいことを学びより考古学に興味を持ちました。
- ・授業というよりも、その時その時で先生が経験したこと等を語るというような感じでした。あまり興味のない事だと理解するのが難しかったが、自分の興味ある事に関わる話の場合は刺激的に聞こえて最後まで集中できました。
- ・話のほとんどが部活(体育会系)についてであったので、大多数の部活に現在入っていない人に対する説明としては不適切だった。

【設問 8】 この授業は自分の学習にとって有益だった。〈有益度〉

	あてはまる	どちらかといえ ばあてはまる	どちらとも いえ	どちらかといえ ばあてはまらない	あてはま らない	無回答・ 無効	合計
人数(人)	1472	1107	469	149	73	0	3270
割合(%)	45	34	14	5	2	0	100



【集計結果】

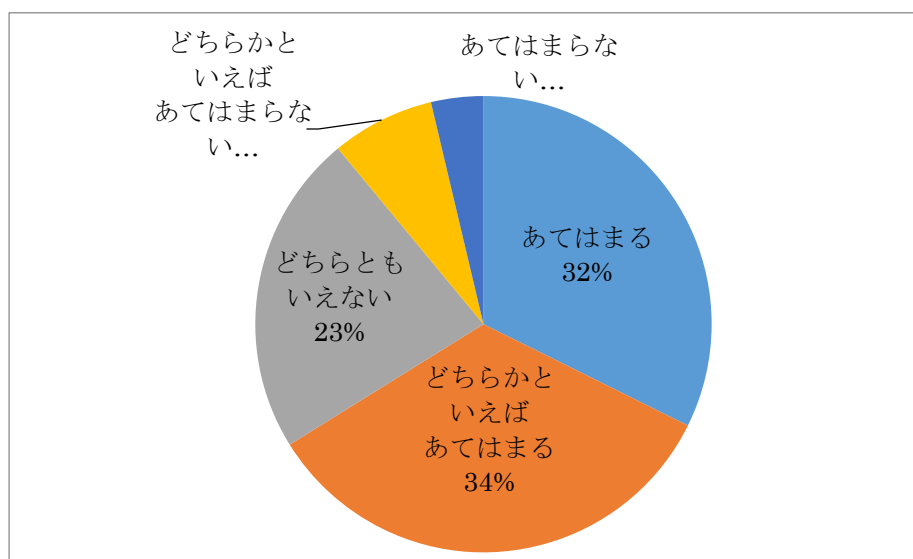
「あてはまる」と「どちらかといえあてはまる」の合計は 79%であり、昨年度の「あてはまる」(40%)と「どちらかといえあてはまる」(36%)の合計 76%とほぼ変わらず、満足できる結果と言える。

【自由記述回答より】

- ・ただ説明するだけでなく、学生が興味を持てるようにと授業して下さるので退屈せず有意義な時間です。
- ・この授業で知ったことは、たまに英語の文を考える上でも役に立っています。
- ・一年間ありがとうございました、来年も機会があればよろしくお願いします。

【設問 9】 学生の理解度や反応に配慮した授業の進め方がなされていた。〈理解度への配慮〉

	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらともいえない	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない	無回答・無効	合計
人数(人)	1057	1106	747	239	121	0	3270
割合(%)	32	34	23	7	4	0	100



【集計結果】

「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の合計は 66%であり、昨年度の「あてはまる」(28%)と「どちらかといえばあてはまる」(34%)の合計 62%とほぼ変わらない結果と言えよう。

【自由記述回答より】

- ・先生が一方向的に話して終わる授業になってしまっている
- ・板書の授業に慣れている学生が多い授業環境の中で板書の少ない、アメリカの大学のようなスタイルを貫き通すのはなかなか厳しい
- ・スライドを見せるために照明を頻繁に消しておきながら、リアクション・ペーパーを課すというのは学生にはあまり優しいとは言えない
- ・最初の要約は 15 分では短いと思います。6 ページもの英文から要点を抜出してまとめるという作業は、思っているより簡単な作業ではありません。

・間違えても決して間違いと言わず、やんわりと訂正してくれるところがいいと思います！ おかげさまで間違えたことに対する恥ずかしさをそんなに感じないです。

・Power Point や動画、音声を使った工夫した授業でよかった。ありがとうございました。

・授業のいい緊張感や、きっちりした授業連絡が集中力を高めてくれます。

・板書をもっと書いてほしいと思った。板書の文字が汚くて読み辛かった。

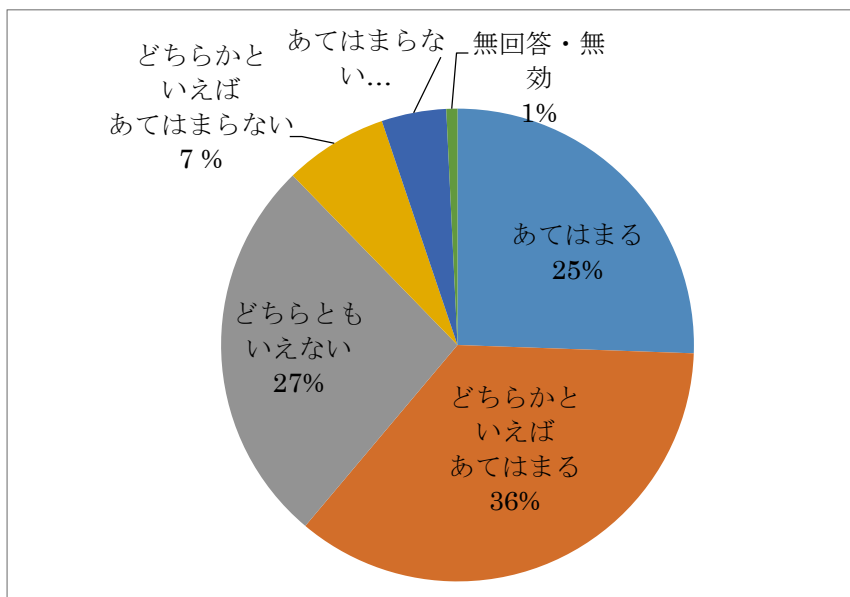
・わかりづらい時があったので学生の様子をもっと見ながら進めてほしいです。

・いつも授業冒頭に先生が前回の授業内容を質問するときについてです。一人に聞いたあと先生に詳しく解説していただけるのはとてもありがたいのですが、本当に詳しく解説していただくので、そのあとの質問で言うことがなくなってしまうことがたまにあります。

【設問 10】 自発的に学習・探求するための指針や助言をこの授業で得ることができた。

〈自発的学習の促進〉

	あてはまる	どちらかといえ ばあてはまる	どちらとも いえない	どちらかといえ ばあてはまらない	あてはま らない	無回答・ 無効	合計
人数(人)	840	1169	874	233	129	25	3270
割合(%)	26	36	27	7	4	1	100



【集計結果】

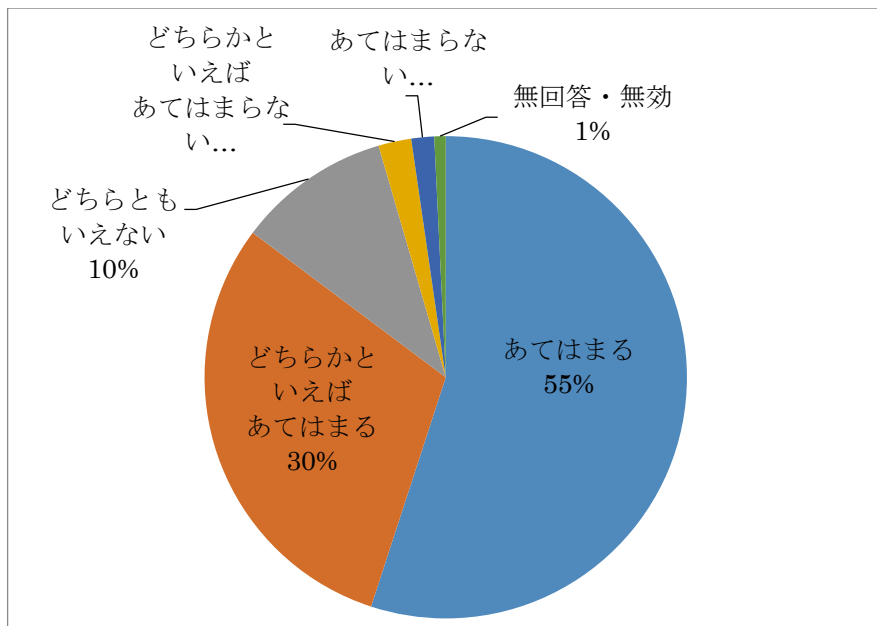
「あてはまる」と「どちらかといえ
ばあてはまる」の合計は 61%であり、昨年度の「あてはまる」
(22%)と「どちらかといえ
ばあてはまる」(33%)の合計 55%よりもわずかに上回ったことはおおむね
満足できる結果と言えよう。

【自由記述回答より】

該当解答なし

【設問 11】 授業に対する教員の熱意を感じた。 〈教員の熱意〉

	あてはまる	どちらかといえ ばあてはまる	どちらとも いえない	どちらかといえ ばあてはまらない	あてはま らない	無回答・ 無効	合計
人数(人)	1799	988	336	72	50	25	3270
割合(%)	55	30	10	2	2	1	100



【集計結果】

「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の合計は 85%であり、昨年度の「あてはまる」(49%)と「どちらかといえばあてはまる」(34%)の合計 83%とほぼ変わらない結果と言えよう。

【自由記述回答より】

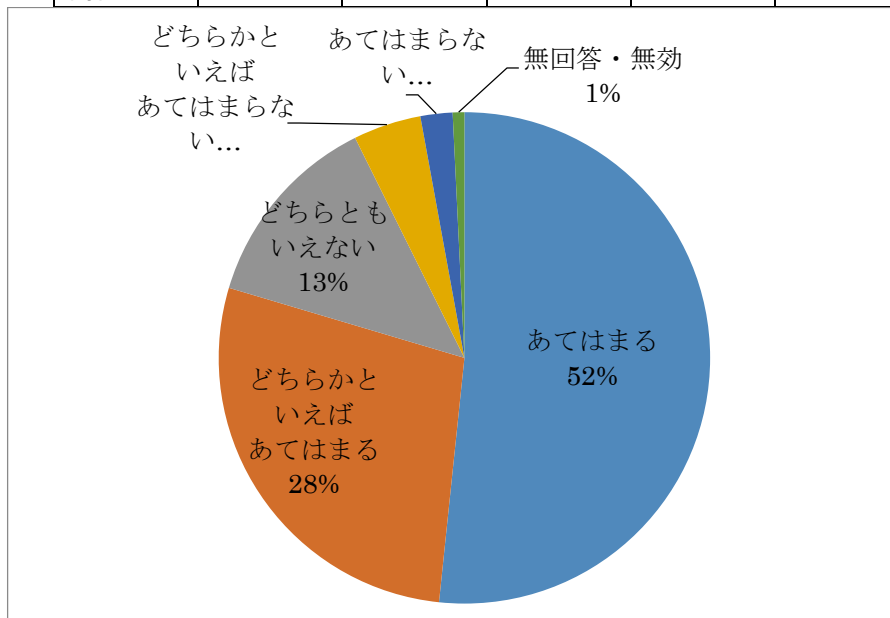
・先生がとても楽しそうでよかった

・先生の熱心な姿勢を見ていると、あまり興味ないことでも聞かないと損なのかもなと思いをこすりながら聞くことができました。

・先生自ら自分の担当の範囲外と言いながら授業をしていてこちらが深い学びができるわけがない。先生にも熱意が感じられなかった。

【設問 12】 授業教室の視聴覚設備は十分であった。〈授業環境〉

	あてはまる	どちらかといえ あてはまる	どちらとも いえない	どちらかといえ あてはまらない	あてはま らない	無回答・ 無効	合計
人数(人)	1689	914	427	146	69	25	3270
割合(%)	52	28	13	4	2	1	100



【集計結果】

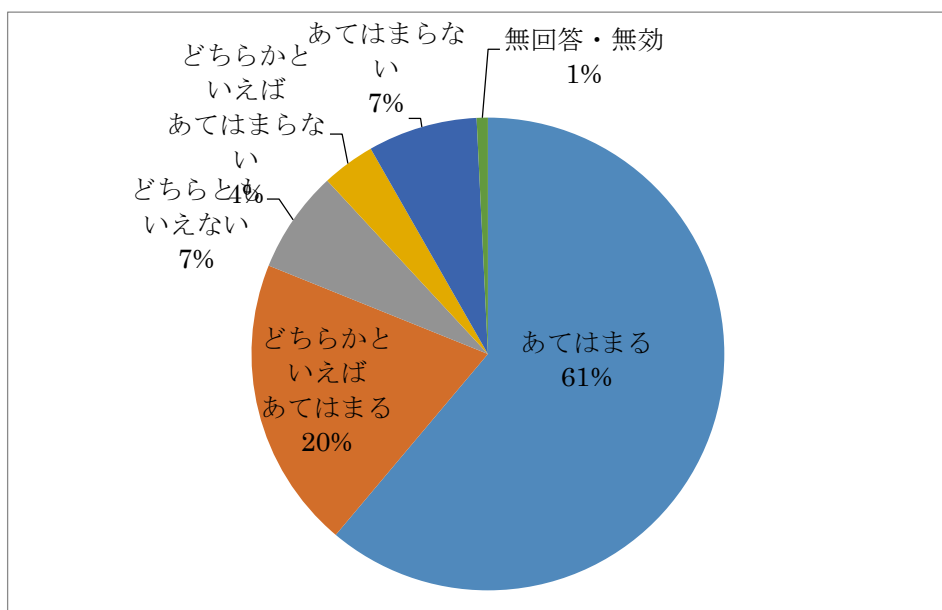
「あてはまる」と「どちらかといえあてはまる」の合計は 80%であり、昨年度の「あてはまる」(51%)と「どちらかといえあてはまる」(30%)の合計 81%とほぼ変わらない結果と言えよう。

【自由記述回答より】

- ・設備が悪いため、プロジェクターなどの写すものが見にくかった
- ・教室のカーテンを閉め、電気を暗くするため、眠くなる。もう少し教室を明るくして頂きたい。

【設問 13】 シラバスを読んでこの授業を履修した。〈シラバスの活用〉

	あてはまる	どちらかといえ ばあてはまる	どちらとも いえない	どちらかといえ ばあてはまらない	あてはま らない	無回答・ 無効	合計
人数(人)	1999	653	229	119	245	25	3270
割合(%)	61	20	7	4	7	1	100



【集計結果】

「あてはまる」と「どちらかといえあてはまる」の合計は 81%であり、昨年度の「あてはまる」(47%)と「どちらかといえあてはまる」(23%)の合計 70%と比べてかなり増加したと言えよう。ただし、「どちらかといえあてはまらない」と「あてはまらない」回答した者、つまりシラバスの内容を参考にせずに受講している学生は、依然として回答者の 1 割強いることになるが、昨年度は、「どちらかといえあてはまらない」(5%)と「あてはまらない」(13%)と回答した者の合計は 18%で、昨年度に比べればその数は減少したことになる。

【自由記述回答より】

該当解答なし

【設問 14】 授業をより良くするために工夫できることがあれば書いてください。〈その他〉

- ・プリントの穴うめを書くときは早めに書いてほしい。
- ・授業を時間内に終わらせてほしい。
- ・板書を順序立てて書くとわかりやすくなると思います。
- ・板書が苦手でもせめて左上から右下の順で書いてほしい。
- ・文献を羅列するのではなく、それがどんなものなのかももう少し詳しい解説が欲しい。
- ・レジュメにももう少しテキストに関わる新たなテキストを載せていただければより興味が持てたとします。
- ・何を目指しているのかを生徒に意識させるべき。
- ・試験時に一度聞いただけでは問題の細部を聞き落してしまうことがあるので、試験問題を印字してほしいと思います。
- ・テストについてもっと詳しく教えて欲しい。
- ・前期は授業で使ったスライドを、クラスのブログで公開していて、復習の際に役立ったので、後期もやってほしかったです。
- ・アンケートは、他の先生がそうしていたのですが、授業中にアンケートをやる時間を設けてやらせると、回答率があがると思います！
- ・参考文献を教員図書参照ではなく、各授業のレジュメに詳細に記載してくれるとより関心、意欲が高まる。
- ・板書もっとわかりやすく書いて欲しい(省略しないで欲しい)
- ・あまりにも遅刻遅刻言い過ぎると、その言っている時間が勿体ない。いっそのこと遅刻 3 回で単位修得不可と言っておいたほうが効果があると思う。
- ・SNS については、（過去に先生が何か不快な思いをされたのかはわかりませんが、）少し言いすぎだと思いました。
- ・授業で和歌などのプリントを用いる際、簡単な現代語訳も載せて頂ければ幸いです
- ・すぐにキレないでください。
- ・板書をしっかりしてほしい
- ・計画表通りの授業進行
- ・担当教員ごとに異なっているので、採点基準に何をを用いるかを早くに明確にもらえるとう惑われない。

- ・毎回最後にリアクション・ペーパーを書くがその回答で自分が何点取ったのか知りたかった。
- ・日本の歴史と合わせながらアジア史を見ていきたいと思った
- ・黒板に書かれる字が薄く、小さくて前の方に座ってもよく読めません。それを読むのに気がつかない、授業に集中できません。また、先生の話す声が小さく、よく聞こえません。そのため話もあまり聞けず、内容が理解できません。教職でとっている学生も多く、授業が理解できないというのは問題だと思います。改善していただきたいです。
- ・テストが終わってからでもいいので、スライドを **Course Power** に載せて欲しい。理由は図や写真をカラーで見て理解を深めたいため。
- ・レジュメに載っている図が大変見辛く、以前 **Course Power** に改めてデータを揚げて頂けるといってお話があったのですが、いつまで経っても揚がってきません。もし揚げて頂けるのであれば、是非ともお願いしたいです。また、**Course Power** に掲載することが困難な様でしたら、レジュメとして印刷する前に一度、載せる予定の図の修正等をして頂けたらと思います。図があった方が理解しやすく、大変有難いと思っておりますのでよろしくお願いします
- ・プリントが薄くて見えないので授業が終わるごとにスライドを **Course Power** にアップロードして欲しいです。それをやってくれないと今後復習する際にも困る。今からでやって欲しい。
- ・本の解説という印象。そこから、ワークショップやディベートなど、実際に交渉学を実践している授業になると、より理解が深まるとおもいました。

5. 集計結果全体のまとめ

質問間の相関係数を算出した結果以下のような傾向が示された。

- ・ 授業態度（Q 3、Q 4）とその他の質問項目との相関は比較的弱かった。
- ・ 授業内容の評価間（Q 5～Q 8）には強い相関がみられた。
- ・ 教員の授業態度を尋ねる項目（Q 9～Q 11）では授業内容の評価（Q 5～Q 8）との間に強い相関が確認された。また自主的学習（Q 4）との相関も比較的高いことから、教員の授業態度の向上は、学生の授業態度を向上させる可能性が示唆された。
- ・ 教室設備（Q 12）、シラバスの活用（Q 13）については全項目を通じて比較的弱い相関があった。

今年度も、昨年度に引き続きポータルサイトによる授業評価アンケートを行ったが、今年度から後期に加えて前期にもアンケートを実施したため、今年度ののべ回答者数は、昨年度に比べて大幅に増加した。ただ前期と後期共にアンケートに参加した学生も多いので、昨年度のデータとの比較に基づいてと今年度の傾向を語ることは慎重になるべきだろう。来年度以降、設問に対する回答の経年的変化を見ていくことが望ましい。

ただし、以下の5点については、今後、さらに改善していくべき項目として、注意を要する。

- ① 自主的な学習を行わずただ授業に参加している学生が 23%いる。（【設問 4】）
- ② 授業がわかりにくいと感じている学生が 9%いる。（【設問 5】）
- ③ 授業が学生の理解度や反応に配慮されていないと感じている学生が 11%いる。（【設問 9】）
- ④ 自発的に学習・探求するための指針や助言を授業で得られなかったと感じている学生が 11%いる。（【設問 10】）
- ⑤ 講義要項（シラバス）を読まずに、受講している学生が 11%いる。（【設問 13】）

これらの5項目のうち、②③⑤に関しては、昨年度とほぼ同じ傾向を示している。

昨年度と今年度と、【設問 12】では、授業教室の視聴覚設備について問うてきたが、生田キャンパスではすでにゼミ室を除いて、ほとんどの教室に視聴覚機材が整備されたので、この設問は来年度以降問う必要がないかもしれない。

それに関連して、自由記述欄を見てみると、Course Power に授業教材をアップロードして欲しいという要望が多かった。Course Power を積極的に利用することで、受講生に予習・復習の機会を与えるようなきめの細かい対応が教員に求められているように感じる。

さらに、受講する学生の側の問題も顕著である。①④⑤に見られるように、シラバスを読まずに授業を受講し、自主的な予習・復習をせずに授業に臨み、自発的な学習の契機を得られなかったと感じている学生が一定数いることも踏まえた上で、演習科目はもちろんこと、講義科目でも、ますますきめ細かい指導が求められていると言えるだろう。

以上

(文学部・人間科学部 FD委員会)